

## 渡邊利三氏 略歴

- ・米国在住。逗子市生まれ。40歳まで逗子市在住。
- ・幼少時に父親が亡くなり、寡婦家庭に育つ。
- ・大学入学に当たり、寡婦家庭のための奨学金を利用
- ・大学在学中奨学金を受け、ブランダイス大学に編入し、政治学、国際関係論を専攻。
- ・帰国後外資系企業に就職。26歳で独立起業し、教育事業、輸入販売事業、コンサルティング事業、40歳からは米国で日本製品を普及させ世界38か国に進出。
- ・56歳で引退し、以降、教育財団事業に取り組み、若者たちの留学支援などを行っている。
- ・The Toshizo Watanabe Foundation 501c(ザ トシゾウ ワタナベ ファンデーション)会長（米国非営利財団）
- ・公益財団法人 米日カウンシル 評議員
- ・公益財団法人 渡邊財団 名誉会長

大学に進学した50数年前、逗子市から寡婦家庭に対する教育資金援助を受けたこともあり、市に恩返しができないかと考え、私財を寄附し、永続的に持続する供与型奨学基金設立を提案された。

父親代わりになった大叔父(渡辺儀重(ぎじゅう)氏)は

- ・逗子市にて湘南ミルクプラント開業、後に逗子市商工会会長
- ・逗子海岸にて日米対抗モーターボート大会開催
- ・披露山公園開園に全面的に協力
- ・逗子市図書館へ渡辺儀重文庫寄贈

聖マリア幼稚園、聖マリア小学校、鎌倉学園中学校、鎌倉学園高等学校、慶應義塾大学  
ブランダイス大学学士 (Brandeis University Bachelor of Science)  
ペパーダイン大学院修士 (Pepperdine University MBA)